

環境備
富山
整

微量PCB機器処理

環境大臣認定を取得

プラリサイクルや廃棄物処理で実績を重ねる富山環境整備（富山市、松浦英樹社長、☎076・469・5356）は6月7日、微量PCB汚染廃電気機器等の無害化処理の環境大臣認定を取得した。微量PCB機器の処理認定としては全国で7件目。

微量PCB汚染物等の焼却処理の認定を受けた。対象物は微量PCB絶縁油、微量PCB汚染物のうち廃電気機器（変圧器、リアクトル、変成器および変流器）、絶縁油搬入に用いたドラム缶の3品目。同社が保有する発電併用焼却施設で焼却・無害化する。

処理能力は、微量PCB絶縁油が1日当たり14・4キログラム、微量PCB汚染物等が1日当たり6・4トン。ロータリーキルンと固定床炉（二次燃焼炉を含む）、排熱発電設備を組み合わせた施設で、焼却条件の焼却温度1100度C以上、2秒以上滞留をクリアする。

同社は2011年1月と、11月末から12月頭に環境省の微量PCBを含む廃棄物の焼却実証実験に参加。その実績をもっての認定となった。